

第14回南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者について(小学生部門)

| 賞名 | 推薦種別 | 所属校氏名 | 学年 | 受賞理由 | |
|------|------|--|----|--|--|
| | | | | 研究テーマ等 | 研究発表・コンテスト等での成績 |
| 最優秀賞 | 個人 | 越前市 花筐小学校 横山 雪 | 6 | アサガオの不思議 パート2 アサガオの色が朝と夕方に変化する理由について、観察から酸性雨の影響について考察している。アサガオの生きるための戦略について、科学的な複数の視点から、長期的に根気強く観察を続け、数値データを分析し、結論を導いている。継続的にアサガオについて研究を進展させたことが評価された。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国児童才能開発コンテスト 科学部門 才能開発教育研究財団理事長賞(R4) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R4) ・全国児童才能開発コンテスト 科学部門 財団科学賞(R3) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R3) |
| 優秀賞 | 個人 | 福井大学 教育学部附属 義務教育学校 八木 心春 | 5 | セミの羽化のタイミング ～福井県に住むセミ・気象との関係～ セミの幼虫の羽化のタイミングと地温や温度との関係性を考察し、温度の上昇が羽化のきっかけになっている可能性を導き出した。独創性のあるテーマであり、実際に自分で足を運び、膨大なデータを収集し、様々な視点から適切な検証を行っている。仮説を立てながら論理的に調査しまとめていることが評価された。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国児童才能開発コンテスト 科学部門 財団科学賞(R4) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R4) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 最優秀賞(R4) ・全国児童才能開発コンテスト 科学部門 全国連合小学校長会会長賞(R3) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R3) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R3) |
| 優秀賞 | 個人 | 坂井市立 雄島小学校 樫山 のあ | 6 | スズムシウインドチャイムを改良する研究 スズムシの鳴き声を金属パイプで作成した昨年度の研究を進展させた。プログラミングを使い、振動をよりランダムにすることで、スズムシの鳴き声に近づけたのか、検証実験を行った。膨大な実験データを表やグラフで分かりやすくまとめ、プログラミングや装置の作成など、意欲的に取り組んできたことが評価された。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアドクター育成塾 サイエンスカンファレンス2022 工学分野 分野賞(R4) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R4) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R4) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R3) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R3) |
| 奨励賞 | 個人 | 福井大学 教育学部附属 義務教育学校 川見 皇太朗 | 5 | 妹のバイオリンが上達するために最高の練習環境を探ろう！ 「音はどう伝わっていくのか」についての研究 ～目に見えない物シリーズパートⅡ～ 音の伝わり方について、様々な視点から粘り強く実験検証を繰り返しながら、解決方法を導き出した。素材や気温などの条件による音の伝わり方の変化について考察した。身近な疑問から、様々な視点から多岐にわたる実験の取り組みが評価された。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R4) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R4) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R3) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優良賞(R3) |
| 奨励賞 | 個人 | 福井大学 教育学部附属 義務教育学校 八木 詩月 | 6 | アリの嗅覚と記憶力を追究する アリの嗅覚の可能性について、仮説を立てながら実験を行い、丁寧に観察を続け、データをまとめた。ヒメアリのにおいをかぎ分ける能力や記憶力の持続性についても考察している。アリの触角の役割に関する研究の意欲や今後の研究の発展性が評価された。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」優秀賞(R4) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 優秀賞(R4) ・福井県小・中学校「私たちの理科研究」入選(R3) ・福井県小・中学生科学アカデミー賞 入選(R3) |